

Milk Hall Times

COLUMN

鎌倉の猫事情 第七十三話

その日の朝は、冷え込んでいました。横たわるグーニーの横で眠っていた私は目覚めと共に秋の冷たさを感じていました。昨夜はいいよと覚悟をしましたが、容態は変わらないものの、とりあえず一夜を無事やり過ごせたようです。相変わらず四肢を投げ出してぐったりとしています。グーニーを守るように傍らに眠っていた愛妻スィーピーと末娘ジュリーも、私が目覚めると同時に起き上がり、不安そうに私を見つめました。私は、とにかくグーニーをもう一度医者に見せなければなりません。あきらめたように力なく横たわるグーニーを抱えて車に乗り込みました。

主治医の先生は、グーニーを診て、そして痛んだ足を用意深く触り、「手術しましょう。膿が随分柔らかくなっているようだ」と、仰いました。免疫力が極端に落ちている事を考慮してもその方が良いという事なのでしょう。先生に全てを託し、私は一人帰りました。

翌日様子を伺うと、「大丈夫、膿は綺麗にとれました。すぐ家に帰れます」との事。毛を剃りあげた足は痛々しいですが、あの夜の事を思うと、随分元気そうです。とにかく今は痛みも和らいでいるようです。

元気な頃から比べれば、力ない様子ではあるものの、グーニーは少しずつ体力を回復し、私が帰宅する時間に、前のように階段のところまで迎えに来られるようにもなりましたが、相変わらず、口の中の激痛の発作に苦しめられていました。どうやら足の怪我が治らずグーニーを苦しめる事になるのでは、という心配はなくなりましたが、根本的な病気は良くなることはありませんでした。そして、季節は冬になり年の瀬がせまって来ました。年末年始は、獣医さんも診療はお休みです。症状が落ち着いているとは言え、グーニーがいつまた激しい発作を起こすかわからないことを、私同様、先生も心配していました。

年の暮れの最後の診療日、グーニーにいつもの注射を打ち、「これで1週間はいいと思うけれど、何かあったら電話して下さい。いつでも診てあげるからね」と言って下さいました。それを聞いて、安心して帰りました。



我が家は、2005年を無事迎えました。グーニー、スィーピー、ジュリーの猫家族と仲良く並んでお正月を過ごしていました。そして、1月8日の最初の診療の日まで激しい発作もなく穏やかな時が流れていました。けれど、その年最初の診療で主治医の先生はまた少し不安を感じられたのです。体重が減っている... ということです。険しい表情で、「原因は何か？ もう一度別な検査が必要かもしれない」と仰ったものの、「今日はいつもの注射を2本打ちます。様子を見ましょう」と、思い直されたのです。

次の診療は1月の17日でした。そしてその様子は良好でした。先生は、「うん、なにかいいようだね」と、言われました。

そして、その日以来、もう以後3年近くグーニーは一度も発作を起こしていません。今では、病院通いも止めました。余命を宣告されたも同然でしたが、状況は一変してしまいました。先生に「どうして発作が出なくなったのでしょうか？」と聞いても、「うん、分からないね。分からない。分からないことは多いよ」と、笑っていました。不思議なことです。

グーニー君は生還を果たしました。私達にとっては、奇跡の生還です。2年以上苦し続けた病気が、あの日以来どこかへ行ってしまいました。今は、本当に元気です。

退屈すると、営業中にミルクホールの中を走りぬけて怒られたり、近所の猫と喧嘩してまた怪我をしないかと心配を掛けたり、ちょっと家の人達がいないと、だみ声で泣き叫んで寂しがります。

グーニーが死に掛けていたあの夜、グーニーを心配して一緒に並んで眠ってくれた末娘のジュリーは、その後どこかの誰かに連れ去られてしまっただけで、行方不明です。が、あんな可愛い良い子ですから、きっとどこかで大切にされて暮らしていることと、思っています。

今日も、グーニーとスィーピーと一緒に遊び、仲良くご飯を食べています。グーニー君は初めて会った時からそうだったように、スィーピーちゃんがご飯を食べ終わるのを見届けてから、食べています。夜は、ベッドに乗りこんで2匹一緒に眠ります。



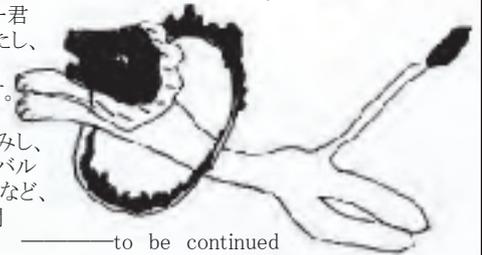
朝、目が覚めると、ベッドの足元に猫達の四つの耳が見えます。穏やかで、小さな平和の朝です。感謝に満ちた朝です。

鎌倉の猫事情 第二部 完

Information

鎌倉の猫事情を、ご愛読頂きありがとうございます。この何号かの間、グーニー君が重い病に苦しんでおりました。その為、沢山の、本当に沢山の皆様にご自分の家族のように、ご心配頂き、申し訳なく、また有難く感謝いたしておりました。

このように、グーニー君は奇跡の生還を果たし、またもや大威張りの日々を送っています。ここで、一旦グーニー君のお話はお休みし、今までのお話、ライバル猫達のプロフィールなど、を挟み、改めて再開いたします。



to be continued



CURIO

cu·ri·o
 — n. (pl. ~s) 骨とう品
 cu·ri·os·i·ty
 — n. 好奇心; 珍奇なもの
 curiosity shop 骨とう店

**骨董・古陶磁
古民芸**

☛ ミルクホールの珍品達

柳茶碗 桃山時代

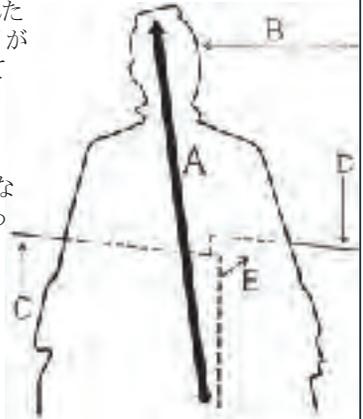
桃山時代の美濃の窯跡から発掘された柳茶碗。もともとは二箇所大きな裂け目がありましたが、漆職人の方をお願いして金継ぎしてもらいました。形のバランスも良く、絵付けも色艶も発掘とは思えない程綺麗です。裂け目は焼き損じて生じたのですが、それがなければ立派な出来栄えだったに違いありません。陶工の無念が偲ばれます。

¥38000

病院用照明スタンド

戦前から戦後にかけて、病院で使用されていた白い照明スタンド。昔あった少し不気味な病院を思い出します。

¥53000



Milk Hall News
OPEN!

てぬぐいカフェ 一花屋
ICHIGEYA



ミルクホール友人のお店がオープンです。

てぬぐいカフェ 一花屋 (いちげや) は、昭和初期の家を改造したとても居心地のよいお店です。オーナーはささめやゆき氏の愛娘夫婦。おっとりしたい方にお勧め。広縁に座って日本庭園を眺めるひと時は、浮世離れて安らぎます。一押しはてぬぐいと、美味しいコーヒーです。江ノ電長谷駅より線路沿いの小道を極楽寺方向へ歩いて約5分。面掛け行列のお祭りで知られる御霊神社の参道入口にあります。地図入りSHOP CARDはミルクホールにあります。

火曜・第2・4水曜休 ☎ 0467-24-9232
<http://ichigeya.petit.cc>

LIVE
11/17

ハーフムーンのライブで、
MILK HALLのBAR TIMEを
お楽しみください

by **HALF MOON**
Sat. **pm 7:30**

HALF MOONの音楽は
愛と平和を歌います。

琢磨 仁 (Jin Takuma)
琢磨 啓子 (Keiko Takuma)



HISTORY

場所の記憶 No.20

KAMAKURA

ミルクホール その10 ルーツ

戦争は、終わりました。

昭和20年8月15日、天皇より発せられたその知らせは、日本国中に伝えられ、そして、中国、インドシナ、南方の国々、ジャングルや、奥地にまで行き届けられ、全ての人達が帰国を果たすまでには、まだまだ長い年月を経ねばなりません。中国の青島にも、その知らせは届きました。知らせを聞いた人の気持ちは事情によってさまざまだったでしょう。しかし、とりあえずほっとした・・と言う人が殆どだったようです。ほっとはしたけれど、明日からの日本にどのような出来事が待ち受けているのか、皆の暮らしがどのようになるのか、想像もできず、国民全てが呆然としていた時代でした。

この家の先代の磯見満氏も、この知らせを青島で聞いていました。共に日本を出、中国へ来た若妻は、この時既に結核で亡くなっており、終戦の知らせを聞くことはありませんでした。入院していたのは、青島病院。磯見満氏は、ここで妻を看取りました。そして、その後病院で看護婦として働いていた女性、伊豆の韮山から中国へ来ていた木内やると再婚し帰国の途に着きました。敗戦し、体や心に多くの傷を負った何百万という人々が日本からの船を待ち、次々と乗り込み帰国して行きました。多くの人々と共に船に乗り、再び鎌倉を目指した父母のその心には、絶望と希望が入り混じっていたのでしょう。

鎌倉に戻った夫婦は、新たな生活を築き始めるのです。

「ミルクホールのルーツ」は、これにて一旦お休みいたします。



次号は、「鎌倉の路地」です。

Information

ミルクホールタイムス定期購読募集

ミルクホールタイムスは、毎月25日に発行しております。定期購読お申し込みの方には、毎月25日郵送いたします。詳しくはミルクホールまで 年間購読料 **¥1500**

ミルクホールタイムス総集編

「鎌倉ミルクホールタイムス」

ミルクホールにて販売中

No.001 ~ No.100

一部 **¥1800**

ミルクホールタイムス創刊号から100号まで全てを編集した、ミルクホールタイムス総集編を発行致しました。「鎌倉の猫事情」第一話から、また「ガラクタ通信」など、ミルクホール30年のあれこれが楽しめる本になっています。

ANTIQUE



伊万里・古陶磁
和洋家具
古民芸
アンティーク

今回の
骨董ガラタ市
蚤の市は
12月に開催致します

THE ²⁰⁰⁷
LAST
BAZZAR

♠ 和洋家具

★★明治・大正・昭和初期の和洋家具
衣裳箆笥・小箆笥・ケース新入荷

★★昭和初期本立て・丸椅子色々入荷

- ★★★★大正時代両面鏡額縁付き
- ★★★★明治時代衣裳箆笥 抽斗2段
- ★★大正衣裳箆笥各種
- ★★明治時代帳場箆笥入荷
- ★★明治・大正時代文机各種入荷
- ★★昭和初期デスク色々
- ★昭和初期鏡台 ★★大正飾り棚
- ★★昭和初期販売店用デスク
- ★★大正ガラスケース

♣ 古陶磁

伊万里・古伊万里・明治べろ藍・
大正色絵等々 買い易い価格で入荷

- ★★伊万里そば猪口キズ物多数
金継ぎ・ニュー直しなど
- ★★★★江戸中期古唐津水盤
- ★★大正色絵なます皿・小皿・徳利各種
- ★★明治銅版小皿新入荷 文明開化絵皿
- ★★古伊万里豆皿・なます ★★平戸猪口
- ★★明治瀬戸石皿・鉢 ★★明治銅版火鉢
- ★★高麗青磁色々 ★★明古染 杯
- ★初期伊万里陶片 ★縄文土器欠片



つくり帯
半衿・帯揚げ
くるみボタン
かんざし

♣ 古民芸・骨董

- ★★★★明治・大正漆器入荷
- ★★鉄瓶・鉄五徳・蔵の金具
- ★★★★道教の壁画 女人像
- ★★明治染付タイル 3枚
- ★★英国18c.ストーンウェア
- ★★李朝盆・根来碗
- ★★灯籠台天燈器
- ★青銅器
- ★アフガン石仏

◆ アンティーク

- ★★大正のレースガラス各種
- ★★昭和初期ショットグラス
- ★★昭和スタンドライト各種
- ★アンティークシェード各種
- ★レプリカシェード ¥5800より

★ 着物・アンティーク古着

大正・昭和初期に大流行した斬新なデザインの銘仙や
お召しの着物など入荷しています

久留米緋	¥7800より	銘仙着物	¥6500より
お召し	¥6800より	小紋	¥3800より



ささめや ゆき作 「天狗廻状」
この「天狗廻状」入り、オリジナル絵はがき 9枚組 ¥1200
ささめや ゆき作 鎌倉絵はがき 春夏秋冬 1部 ¥450

ささめや ゆき氏が住み慣れた鎌倉を長年に渡って散策しスケッチした鎌倉のあちこち
です。既製の観光案内にはない鎌倉の絵葉書です。

今月のミルクホールタイムス裏表紙は、
ささめや ゆき作 「ZIRKUS」 ガラス絵です。

ミルクホール所蔵、ホール壁に掛けてあります。
また、「ミルクホール」BAR ROOMの「フランメンコ」
ミルクホールオリジナル原画などを
店内に展示しています。



和の小もの

ミルクホールオリジナル 和の小もの
大正・昭和初期時代の絹の着物の布地を
素材に使った和の小もの色々です

✂ 半衿・帯揚げ

★★各種半衿 新入荷
昔の着物をほどいて半衿に仕
立てました。大正風にアレンジす
るなら銘仙など、コーディネート
が楽しめます。半襟 ¥800より

✂ 古布

絞り・小紋・銘仙・大島など、アンテ
ィーク古い着物をほどいて作っ
ています。値段の目安は
1メートルで1000円ほどです。



✂ 帯・つくり帯

ミルクホール新作帯
¥6800より

大正・昭和初期の華やかな着物を
解いて帯に仕立てました。
軽くて色鮮やかな半幅帯です。

★★アンティーク名古屋帯
★半幅各種

✂ かんざし

★かんざし各種
木のかんざし ¥1800より
★ミルクホール製 くるみボタン
くるみボタンのコム¥1200より